

氏名(本籍)	井形元彦(福岡県)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第348号		
学位授与年月日	平成31年3月20日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	農業経営の企業化の分析と新たな展開ー概念データモデルによるプロセスの分析を通じた考察ー		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	桂 信太郎
	高知工科大学	教授	那須 清吾
	高知工科大学	教授	渡邊 法美
	高知工科大学	教授	高田 喜朗
	関西外国語大学	教授	福井 幸男

審査結果の要旨

1.論文の評価

井形元彦氏が提唱する博士論文「農業経営の企業化の分析と新たな展開ー概念データモデルによるプロセスの分析を通じた考察ー」について、高度技術者としての学位申請を2019年1月9日付で受理(本学博士後期課程委員会)され、2019年2月16日高知工科大学香美キャンパスにおいて、学位論文審査および最終試験を行った。井形氏博士論文の研究背景には、農業の担手不足や競争激化により効率化を推進すべく農業生産法人の設立が進み、特に直近5年大規模効率型農業が進展していることが挙げられる。これらの背景のもとで、本稿では経営情報論、経営戦略論、起業論における主要先行研究を踏まえ、①農業生産法人の起業から事業化に至る展開プロセスについて、概念データモデル(Cnceptual Data Modeling : CDM)、戦略マップ、品質機能展開の統合フレームワークの援用から静的および動的の両側面から農業ビジネスの実態を分析解明し、②得られた知見を基に実地調査や経営者への聞き取り調査を丁寧に繰り返しながら、起業から事業化に至る過程での課題を抽出し、③さらなる脳表経営の事業発展のための新事業展開の統合ビジネスフレームワークを提示し、新たな農業経営の可能性について明らかにすることで実務貢献を狙ったものである。井形氏は、これまで、査読論文7報を国内外の学会誌に掲載済みであり、現在でも国内外の学会において精力的に発表され、学会誌に対して積極的に論文投稿している。これ以外にも、著者や研究ノートなどを数多く精力的に執筆し公表してきている。学術レベル諮問試験や公開論文審査会等において指摘された点をもとに論文構成を再度丁寧に見直しながら、博士論文完成に向け、本論文そのものの制度をさらに高めていく必要がある。以下の点を踏まえながら、井形氏は在学中、調査研究に主体的に取り組んだ。同時並行して、起業マネジメントコース内のカリキュラム(各講義やセミナー等)、重点レビュー、学術レベル諮問試験を経て、学位論文審査および最終試験を実施した。このプロセスを踏まえたうえで、審査員5名が慎重に審査および審議を行った結果、審査委員が全員一致で合格と判定した。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成31年1月9日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成31年2月 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成31年3月5日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。